PRESS RELEASE

2018 年 3 月 5 日

株式会社 日本経済新聞社
The Financial Times Ltd.

# 日経・FT、アジア企業の英文情報サービス発売

## 20 数カ国･地域の非上場企業 50 万社カバー、AI を応用し意思決定を支援

株式会社日本経済新聞社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岡田直敏）と英フィナンシャル・タイムズは 5 日、AI（人工知能）を応用してアジアの企業データとニュースを一体的に提供する新たな英文情報サービス「scoutAsia（スカウトアジア）」を発売しました。

利用者はscoutAsiaを使うことで、ASEANを中心とする広域アジア 20 カ国以上、50 万社超にのぼる企業データや関連ニュースを検索し、目的とする企業・産業･経済の情報を効率よく入手できます。（ホームページは https://scout.asia）

scoutAsia の主な機能は以下の通りです：
・アジア 50 万社以上の企業情報を提供 -- 非上場を軸に売上高 1000 万ドル以上または社員数 150 人以上の会社をカバー
・ターゲット企業のリストを作成、グローバル／ローカルニュースを通じたモニターが可能
・フォローしている企業のニュースや発表情報に関する最新のアラートを提供
・企業の結びつきがわかる「リレーションシップデータ」を使い、顧客、サプライヤー、競合相手などとの関係性を表示

日経・FT は scoutAsia をグローバル市場で販売するため、このほど共同出資会社「Nikkei FT Scout Asia Limited」を香港に設立しました。同社のマネージングディレクター、Dan Bogler 氏は、「scoutAsia は世界をリードするビジネスニュースメディアである日経・FT の 2 社が開発・運営しています。データ、分析、一流のジャーナリズムを統合して提供し、質の高い情報に基づく意思決定と素早いビジネスチャンスの把握を実現します。最新の AI 技術を応用したデータベースとして、企業情報と関連ニュースを結びつけ、効率的な事業機会の創出を支援します」と語っています。

scoutAsia が提供するニュースとデータには、FT.com や Nikkei Asian Review など日経グループと FT グループの出版物、 20 以上のアジアの英文ニュースメディア、Bureau Van Dijk や FactSet など世界有数の企業データベース、有力コンサルティング会社や調査研究機関のリポートなどが含まれます。

---

**日本経済新聞社について**
1876 年以来、約 140 年にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えています。主力媒体『日本経済新聞』の発行部数は約 250 万部で、国内 61 カ所の取材拠点で 1300 人超の記者が取材・執筆。2010 年 3 月に創刊した『日本経済新聞 電子版』の有料会員数は約 55 万、有料・無料登録を

合わせ 380 万超に達します。
2015 年には英 Financial Times がグループに加わりました。信頼性の高い情報をグローバルに伝えていくべくデジタル化や最新のテクノロジーの活用に取り組んでいます。

**本件に対する問い合わせ**
日本経済新聞社 広報室　TEL:(03)3270-0251 (代表)